



環境創造型プロジェクトとして整備された「淡路夢舞台」は、阪神間や関西国際空港の埋め立てのために土砂を採取した跡の荒涼とした山に、25万本の木を植林し、“人と自然の共生”をテーマに個性的な施設群と公園を整備しました。

株式会社夢舞台では、地域社会の一員として、持続・発展的に歩んで行くため、社会貢献活動の必要性を自覚し、

一企業として社会から評価・支持される会社をめざして、お客様、パートナー企業とともに実践してまいります。

平成23年度から3カ年は、次世代を担う子どもたちの芸術活動を応援する「淡路夢舞台 Kids Art Program」を進めてまいります。



▶ 「淡路夢舞台 Kids Art Program」 応援団趣意書

■「淡路夢舞台 Kids Art Program」を応援してください！

「淡路夢舞台」内の自動販売機でジュースをお買い求めいただきますと売上の一部が自動的に「淡路夢舞台 Kids Art Program」基金に振り込まれます。



売上の一部が振り込まれます



将来の芸術家たちの活動に
役立てられます

「淡路夢舞台 Kids Art Program」では

- ころもづくり絵画コンクール in 淡路夢舞台
- 若手アーティスト自主企画イベント支援
- 淡路島内在住アーティストの作品展支援
- 商品開発につながるデザインコンテスト

などのプログラムを実施予定です。



「淡路夢舞台 Kids Art Program」 応援団趣意書

AWAJI YUMEBUTAI KIDS ART PROGRAM

近年、わが国では、少子化や核家族化が急速に進み、子どもたちと家族、地域社会との関わり方に大きな変化が生じています。子どもたちは、パソコンや携帯型ゲーム機、携帯電話などバーチャルリアリティの世界で遊ぶことが多くなり、自らの感性で表現し創造する力、自らが体験・体感しようとする意欲やエネルギーが薄れてきているように思えます。しかし、子供たちの持つ無限の可能性は、今も昔も等しく与えられています。その可能性を引き出せるかどうかは、周りの環境によるところが大きいと言っても過言ではありません。

「淡路夢舞台キッズアート・プログラム」は、小学生を中心とした子どもたちと、さまざまな分野（絵画、彫刻、版画、デザイン、建築、写真など）の芸術家との接点を創出し、震災復興のシンボルとして生まれた「淡路夢舞台」をキャンバスに子どもたちの豊かな感性に働きかけ、次の世代の“夢”を描いてもらおうとする取組みです。

子どもたちの発想する力、創意工夫する力、表現する力を培い、さまざまな造形表現活動を通して「自分らしく生きる力」を養うため、地域、行政、企業、団体などのネットワーク、参画と共同を通して、子どもたちの未来に思いを馳せるメッセージを送ろうではありませんか。

子どもたちの豊かな感性やコミュニケーションの輪を広げ、日本の文化力向上のため、私たちもこの活動を応援します。多くの皆様のご協力とご支援を心からお願いいたします。



「淡路夢舞台 Kids Art Program」 応援団

安藤忠雄(安藤忠雄建築研究所)
南部靖之(株式会社パソナグループ)

貝原俊民(前兵庫県知事)
袁 豊(兵庫県立美術館)